

ご紹介

取り組んでいます

長距離陸上と球技 市民の競技力アップを

3種目のスポーツ

市は、健康づくり事業の一環として、一流のスポーツ選手などを招致して、市民の皆さんの、競技力向上を図る事業を展開していきます。

この事業は、年間を通じ指導していただくことにより、競技力向上と健康力のアップにつながるものです。

今年度は、マラソン、バレーボールやソフトボールの3種目の基礎から応用技術まで、参加者のレベルに応じた指導をしていただく予定です。

今回は、4月にスタートしたソフトボールの競技力向上対策事業についてお知らせします。



ボールの握り方を説明する中田コーチ（写真中央）

ソフトボールを楽しんで

4月11日には、ソフトボール日本代表チームの元主将を務め、現在は県内で活躍しているソフトボールチーム「スマイル福島」（二本菅弘江監督）のコーチを務める中田まりコーチ（東京都在住）を招いて、ソフトボールの講習会が開催されました。中田



指導方針を参加者へ説明する様子

ルスポーツ少年団の部員とその保護者および指導者の皆さんに指導方針を伝えました。中田コーチは「投げ方、走り方は最初が大事。子どもたちは、できないのがあたりまえ、子どもの目線で教えることが大切」と話していました。参加した保護者から「何を協力すればいいのか」との質問には、中田コーチは「あいさつなど家庭での教育が基本であり、食事の管理と体調管理に注意してほしい」と保護者の協力を要

請しました。

1年間を通じて42回指導を行う予定で、当面の日程について説明を受けた保護者は「安心して子どもたちを預けられる。私たちも応援していきたい」と話していました。

子どもたちの競技力の向上と健康力の向上を図るためには、家庭の和が大切のようです。

市の事業を

このような事業に

会津街道分岐点 普度供養塔の復活

歴史をたどる

市の平成21年度の事業として本宮字太郎丸地内で整備が進められていた道路改良工事が3月末に完成し、普度供養塔が移設されました。

普度供養塔は、太郎丸地内に天保14年(西暦1843年)に設置されたもので、江戸時代には本宮宿の南端にあり、「右あい津」・「左江戸」と記され、奥州街道から会津街道

への分岐点で道しるべの役割もあつたと言われていました。

普度供養塔は、道路工事などにより歴史民俗資料館に移設保管されていましたが、今回の道路改良工事により、ほぼ昔の位置に復元されたことになりました。

歴史を感じることで新しいスポットが完成したたので、ぜひ一度ご覧になってはいかがでしょうか。

新たな街の姿へ

本宮字九縄地内と本宮字南町裡地内には、市民の皆さんの憩いの空間としてポケットパークが整備されました。

子どもから高齢者の皆さんが、安全に通行できるように配慮された施設で、小規模ながら、街中のコミュニケーションの場として活用していただければと思います。

移り変わりゆく街並みを後世に 市政映像の撮影進む

市は、移り変わる街並みや人々の様子を撮影し、市民共通の財産とするため、平成21年6月から市政映像の撮影を進めています。

5月末まで撮影を行い、編集を経て完成は今年の9月末を予定しています。

市政映像は、前半・後半の2部構成で、前半は、旧本宮町・旧白沢村の歴史や伝統文化を紹介し、後半は、今の市内の様子を記録するものとなります。全体では約30分の映像になる予定です。

5月には、新緑と田園風景、みずいろ公園のこどもまつりや楽天イーグルス野球教室などの映像を撮影します。完成に向けて皆様のご協力をお願いいたします。



昔の場所に戻った普度供養塔



太郎丸地内の道路改良工事完成



九縄地内(左)と南町裡のポケットパーク(右)



4月20日には、本宮高校の通学風景を撮影しました